

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	露語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Russian		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	斎藤 毅		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
zvt03146@nifty.com	

【主題および達成目標】
この授業は前学期の「露語演習」の続編の授業です。詳しくは「露語演習」の項をご覧ください。

【前もって履修しておくべき科目】
露語第一・第二、露語演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林） 参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）

【授業内容とその進め方】
基本的に前学期の「露語演習」と同じ教科書を用いて、前学期の続きから授業を進めます。 この「露語運用演習」の授業では、教科書の第21課から25課まで、すなわち最後まで進むことを目指します。文法事項の他、数字（時間・値段・電話番号等）、曜日、月など、実際の会話に必要な事項も多く学

電気通信大学 平成20年度シラバス

びます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- 1) 平常点(出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など)
- 2) 学期末試験またはレポート

評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとなしている
- 2) 学習した範囲の文法事項を理解している
- 3) 学習した範囲の単語の意味が分かる

【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。

【学生へのメッセージ】

とにかく途中であきらめず、無理をしてでも授業に出席し続けるという心構えでいてください。これが外国語習得には大切なことです。

【その他】

なし